

GOVERNOR'S



MONTHLY LETTER

Rotary International District 2800

2005-2006

ガバナー月信 第2号

2005年8月1日<COPY>



vol.2

8



国際ロータリー第2800地区

2005 2006年度

ガバナー：石黒慶一

R.I. 会長：カール・ヴイルヘルム・ステンハマー

R.I. 理事：南園義一 / 重田政信



超我の奉仕

SERVICE Above Self



国際大会会場

目次

ガバナーメッセージ	3
会員増強委員会活動方針と計画	4
クラブ拡大と地区分割の思い出	5
各ブロックガバナー補佐 今年度への思い	6
2005年国際大会に出席して	9
「ロータリーの友」の縦組みはおもしろい!	10
文庫通信No215	10
地区大会のご案内	11

8月の行事予定

4日～5日	インターアクト年次大会(飯豊町)
6日	R財団奨学生選考試験打合せ(山形市)
7日	R財団奨学生選考試験(山形市)
17日～19日	インターアクト地区外研修(第2610地区)
20日	米山奨学会セミナー(山形市)
21日	第1回ローターアクト会長・幹事会(山形市)
30日	米山奨学会評議員会(東京)
31日	山形RC創立55周年記念式典

8月の公式訪問

8月2日(火)	南陽東RC
3日(水)	小国RC
8日(月)	中山RC・山形イブニングRC
9日(火)	山形中央RC
10日(水)	上山RC
22日(月)	天童西RC
23日(火)	山形南RC
24日(水)	山形RC
25日(木)	白鷹RC・米沢RC
26日(金)	山形東RC
29日(月)	河北RC
31日(水)	朝日RC

表紙写真 / イカの一夜干し

温海町鼠ヶ関港で撮影した、庄内浜の夏の風物詩「イカの一夜干し」の作業風景。わたを取って開いたイカを天日に干すことで、イカのうまみを凝縮させ味を出すこの作業は、今月一杯続きます。



ガバナーメッセージ

会員増強 および 拡大月間

国際ロータリー第2800地区
2005～2006年度ガバナー

石黒 慶一

8月は「会員増強及び拡大月間」です。

日本では、会員数約13万人を最高として、1997年頃より減少を続けており、当地区においてもここ数年毎年100名程度の会員減少が続いております。世界的にみても減少傾向は続いておりますが、入会の条件を厳しくしているドイツだけは増加傾向と言われております。何故でしょうか

「2005年ロータリアン必携」には次のように記されています。すべての組織は自然に任せると、会員の高齢化、病気になるいは転勤や引っ越し等で会員が減少してくるものです。ロータリークラブも例外ではありません。会員増強の重要性には、

新しいロータリアンはクラブに斬新なアイデア、新しい関心事項をもたらし、クラブの活力を増す。知り合いが広がり、奉仕の能力が増す。

ロータリー財団のプログラム参加者が増え、ロータリーの使命を推進することができる。新会員は、将来のロータリー指導者の候補者となるばかりでなく、クラブやロータリーの長期的存続をもたらす。等をあげております。

私はガバナー就任にあたって、各クラブに「自分のクラブの棚卸し」をして頂くようお願いし

たのは、「超我の奉仕」を十分に発揮出来るためには自分のクラブにとって何が必要かを問いかけたつもりです。会員増強もそのひとつでもありますが、単なる会員数増加という数の問題ではなく、基本的には会員の質の向上とクラブの活力維持の側面も含んでいることを御理解下さい。ロータリーが一世紀続き、今、新たな世紀に入れたのもこの会員増強があったればこそと思います。退会防止と未充填職業の新会員の入会を進めて頂ければ幸いです。奉仕の仲間作りは我々一人ひとりの責任でもあります。

クラブ拡大はここ数年実現しておりませんが、既存のクラブを模したクラブ拡大は現在の社会状況から見て困難と思われれます。しかし、奉仕の機会を求めている人は多くいると思います。会員増強と同様に多くの問題はあるとしても、地域のニーズにあった、社会のニーズにあったクラブ拡大は実現困難とは思いません。9月の地区大会で特別講演をお願いしてある小沢一彦P.G.(横須賀R.C.)にはこの辺りの問題点を御指導して頂く予定です。

7月11日 山形西R.C.を皮切りに

ガバナー 公式訪問がスタート!!

山形西R.C.は地区最大の会員数を誇る歴史あるクラブです。遠藤P.G.、豊田直前Gも例会に出席して頂きました。和やかな内にも、統制のとれた例会運営に感銘を受けました。例会を前後して、斎藤弘山形県知事、黒沢洋介山形新聞社長、佐藤充彦山形放送社長を木村資金委員長、中澤幹事、菅原地区大会実行委員長共々表敬訪問を行い、親しく懇談しました。



公式訪問記



2005～06年度
会員増強委員会

活動方針と 計画

委員長
渡 辺 亮 一

昨年度に引き続き、第2800地区会員増強委員長を仰せつかりました山形西RCの渡辺亮一であります。

重要な時期に重責を担うことになり身の引き締まる思いであります。

地区内全クラブのご支援を頂きその責務を全うしたいと考えておりますので格段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、ロータリークラブが成功・発展するための条件として、四本柱が掲げられ、その第一に「会員基盤を維持、増大させる。」が挙げられています。

ロータリーが第二世紀に向けて発展し躍進するためには、確固たる組織維持が不可欠であります。

しかし、近年の会員動向は世界レベルで減少傾向にあり、特に日本では急激に減少しつつあります。停滞する経済情勢や価値観の変革などが一因とも考えられます。

第2800地区においても近年連続して減少し、その傾向に歯止めが掛からず会員数2,100名維持が危ぶまれているのが現状であります。

次年度のRIテーマ「超我の奉仕」の実現のためには、是非とも会員維持・増強が求められる処であります。

石黒ガバナーは、地区目標として「クラブ基盤の確立」を掲げ、具体策として退会防止を第一義とされ退会者0年度を提唱されました。

当委員会は、これらの方針に従い次の活動方針を掲げ実践いたします。

[委員会活動方針]

1, 退会防止を最重点とし、退会者0名を目指します。

2, 職業分類を見直し、未充填職業から最低1名を入会させます。

3, 女性会員の増強を強調します。

具体策として

1, ブロック別会員増強セミナーを下記日程により開催いたします。(4会場)

(1)平成17年9月1日(木) 第3・4ブロック内クラブ ところ 東根市 花の湯ホテル

(2)平成17年9月2日(金) 第1・2ブロック内クラブ ところ 鶴岡市 グランド エル・サン

(3)平成17年9月12日(月) 第5ブロック内

クラブ ところ 山形市 オーナマホテル
(4)平成17年9月13日(火) 第6ブロック内
クラブ ところ 南陽市 いとや旅館

「セミナー開催共通事項」

(1)登録開始 14時30分

開 会 15時

閉 会 17時

(2)出席義務者 クラブ会長または幹事・担当委員長。その他参加者 特に女性会員の参加を希望します。

(3)登録料 1名 1,500円

(4)基調講演 国際ロータリー会員組織コーディネーター 高橋文夫PG (ハシゴダン)
多数のご参加をお願い申し上げます。

更に、後期(2月頃)に地区全体の会員増強セミナーを企画いたします。

2, 退会防止策として

(1)「クラブ棚卸し」の実施を奨励いたします。クラブ会員の実態把握(年齢別・クラブ経験年数・出席免除者・長期欠席者・会費納入状況・例会出席状況・クラブ活動状況・後継者の有無等)し、退会防止の事前対策をお願い致します。

(2)新人会員との交流会及び新入会員研修会(特に、入会3年未満会員を対象)の実施を奨励します。

(3)家族会の開催及びサークル活動を奨励します。

(4)高齢者会員のためのプログラムを奨励します。

(5)クラブ細則の改正等により、退会防止及び会員増強に有効と認められる場合は、見直しを奨励します。

3, 会員増強策として

(1)各クラブは、奉仕活動及びクラブ運営のための適正会員数を討議し、中期的計画(3年程度)に基づき会員確保・維持に対応するよう提案します。

(2)職業分類表の見直しを行い、未充填職業を重点的に活用し、会員増強を図るようクラブに提案します。

(3)女性会員の入会を積極的に勧め、特に女性会員が0のクラブは最低1名を確保するよう要請します。

4, 地区会員増強委員は、ガバナー補佐が兼務しているので所属ブロックのクラブ訪問時にクラブ担当者との協議を密にし、クラブの実情等を把握し適切なアドバイスを行う等、退会防止・会員増強のための支援を行います。

5, 退会防止、会員増強は、クラブが楽しく魅力あるものであることが基本であり、会員が喜んで奉仕できる環境が大切であります。従ってクラブ奉仕活動と連携した対策が求められます。

以上の計画に基づき会員増強と退会防止を実現し、2800地区の組織維持に貢献したいと存じますので各クラブのご支援を心よりお願い申し上げます「会員



クラブ拡大と 地区分割の思い出

'86 - '87パストガバナー

九里茂三

1950年8月、認証をうけた山形ロータリークラブの大きな悩みは、近隣にクラブはなく、せめて仙台・福島と交流せざるを得なかったことであった。何としても近くに新クラブをとの願いから、第七代会長の長谷川吉三郎氏は当時両羽銀行頭取という顔の広さから、クラブ拡大につとめ、その第一号が上山クラブ、次いで山形西・天童・米沢と拡大につとめられた。更には村山・鶴岡・寒河江・酒田・新庄と、山形クラブの方々によるクラブ拡大が続くことになる。

実は1947年、山形商工会議所の専務理事だった日塔治郎氏が、元三井物産の社員として旧満州時代、奉天ロータリークラブの会員であったことから、戦後いち早くクラブの設立に着目したのだと、山形からの初代ガバナーだった安斎徹氏の話がある。だとすると、まだ正式とは言えないまでも、東京クラブのR.I. 復帰当時、山形でもその動きが始まっていた事になるわけである。

さて、東北・北海道、更に東北6県、更に秋田・山形・福島3県と、地区の分割も次々と行なわれたが、1973年以後は福島・山形両県の時代が続き、1987～88年度には92クラブという、日本でも最多のクラブ数を数えるに到った。一方でガバナーの管理も多岐に亘り、心身共に疲労が重なり、地区分割の必要性が語られ始めていたのも無理はない。時あたかも会津若松での年次大会で、特に出席していた渡辺和美氏(東京R.C.所属で国際ロータリー拡大委員)がやおら登壇し、当時の志藤ガバナーと村上ガバナーノミニーを壇上に招き、山形と福島の両県は分割すべきだと提言し、両人の手をとって高々と掲げさせた。突然のハプニングであったが、253地区の分割が正式に話題として取り上げられたのは、これが初めてであった。

80～81年度のガバナーであった村上七五三夫氏は、やがて「地区分割委員会」を組織し、委員長に福島の田中善六パストガバナー、副委員長には山形から九里茂三が任命された。

90を越すクラブの管理運営とクラブ訪問がいかにも大変であったか、ロータリー運動に生涯を捧げた喜多方の佐原P.G.や酒田の村上七五三夫氏の死去が、この大役のせいではないと言い切れないうし、無事自らの年度を了えたものの、間もなく倒れた平R.C.の吉田P.G.などの悲運を目の当たりに見た九里茂三アクティングガバナーは、東京でのバトンタッチのガバナー会で、特に感想を求められて次のように発言した。

“村上さんも吉田さんも、東北人らしく、余りに律義すぎたのです。ロータリーのガバナーとして職責に倒れたのは、とても辛く気の毒です。然し、ロータリーは悲痛であってはいけません。次の言葉は米沢出身の経済学者大熊信行先生の三行詩です。

つかれたら 休もうよ
休んだら むっく起きて
また歩こうよ

さて、ロータリーの発展を概観すれば、正に、クラブ拡大と増強の歴史、そして、地区分割の歴史だとも言えよう。然し、適正なクラブ数を求めて分割された直後の小規模な地区の運営も亦大変なのであって、福島と別れたばかりの2800地区の厳しい運営は、野川(故人)、遠藤両パストガバナーなどの時代で、いかにも大変だったのである。

常に問題をかかえながら、皆の良識が支える地区運営であってほしいと念ずる所以である。

【本年度は、国際ロータリー第253地区が2530地区と2800地区に分割となって15年目にあたります。当時の状況について九里茂三パストガバナーに寄稿して頂きました。】

「超我の奉仕」クラブとガバナーとの 緊密な連携のために

第1ブロックガバナー補佐

楽しいから やってこれたロータリー

～ガバナー補佐の委嘱を受けて～



丸 藤 只 孝 (八幡RC)

私がこれまでクラブにお世話になり、その活動を続けてこられたのは、楽しかったからの一言に尽きると考えております。一連の社会奉仕活動、老人ホーム訪問、小中学校訪問、町内千

本桜植樹、青少年交換学生の受け入れ・派遣、GSEのホームステイ、毎週の例会出席はもちろん、他クラブとの交流等々。すべて楽しい奉仕活動であると思っております。

今般、浅学非才の身をも顧みずガバナー補佐という大役をお引き受けすることになりました。8項目にも及ぶ役割を全うできるとは思いませんが、石黒ガバナーのご示唆に依り全力を尽くして精進する覚悟であります。ロータリアン各位のご指導と叱咤激励をお願いします。

石黒ガバナーは「歴史は、その永さを誇るべきでなく、何をしてきたかを誇るべきです。」と示しています。どうぞよろしくお願いいたします

第2ブロックガバナー補佐

ガバナー補佐を仰せつかって

富 樫 幸 彌 (鶴岡東RC)



鶴岡東RCに廻ってきたガバナー補佐の役割を、諸事情により仕方なく引き受けざるを得ませんでした。

石黒ガバナーは、以前住まいも医院も同じ場所(現ガバナー事務所)で、私の

住まいも旧町内では同じ町内で、子供会では憧れ

の大先輩でした。ガバナー補佐を指名されてから勉強したその役割は、ガバナーの意向をブロック内の各クラブにへ伝え、また各クラブの状況および要望等をガバナーに伝える連絡係であるというように理解しました。連絡係ならばと、自分に納得させているところです。しかし、単に連絡係という役割としても、ガバナーの意向をキチッと伝えなければなりません。そのためにロータリーをしっかり理解していなければ正しい伝達は出来ないと思います。ロータリーのうわべの事しか理解していない私に、果たしてこの役割を果たすことが出来るか不安でもあります。しかし、これもロータリーを理解する研修の場と思い、今までページを開いたことも無かった“ロータリーの友”を読み出したところです。

このようなガバナー補佐ですので、第2ブロックのロータリアンの皆さんよろしくご指導の程お願い申し上げます。

第3ブロックガバナー補佐

横 尾 智三郎 (東根RC)



佐藤豊彦氏(天童RC)の後、その任を受けました。私の担当(分担)地区は、第3ブロックの南(天童、天童東、天童西、東根、東根中央、村山)の6クラブ

です。大変荷の重い任務となりますが、気負わず、能力範囲で活動してまいりたいと思いますので、どうぞご指導の程、よろしくお願いいたします。

今年度は、ロータリークラブが出来て、101年目の新たな世紀のスタートの年です。石黒ガバナーは、伝統あるロータリーの新たな挑戦の年と位置づけております。各ロータリークラブにおきましても、新たな気持ちで、新年度のスタートを切られた事と思います。充実した年度になりますよう期待しております。

さて、ガバナーは、補佐へのお願いとして、次

の三つを指示されました。

1. 分担クラブとの密接な連携と訪問報告
2. ガバナー代理として企画立案と諸会合への参加
3. ガバナー公式訪問時にブロック内の財団、交換、米山等の学生、ローターアクターの同行の手配です。

いずれも、ブロック内クラブと密接な関係を持ち、情報提供、情報収集を行ってまいりますのでご協力お願いいたします。

さて、ロータリーは種々の問題を抱えております。岐路にたっているといえるでしょう。特に会員増強は、同地区内に、ライオンズやソロプチが存在しますし、その中でロータリー独自の魅力が発信されているかどうか、どのクラブにおいても苦慮されている事と思います。それでも本年度は「退会防止」を第一義と考え、1名純増を目指しております。仲間づくりのために、クラブ活性化のために、よろしくお願いいたします。

本年度、石黒ガバナーの目標が達成されますようご支援、ご協力をお願いいたします。

第5ブロックガバナー補佐

ロータリーと私

伊藤修二(山形RC)



学校にあがる前の幼児の頃より、いつも眼にして来たロータリーのマークが何時の間にか自分の胸にあり、次第に数々の役廻りが巡ってくるようになって来ました。

小さな頃から、父に連れられハイキングや家族会など、同じ年代の子弟と一緒にになり、楽しい思い出が数限りなくあります。まだまだ貧しい時代でしたから見るもの聞くもの食べるもの、すべてが喜びに繋がる素晴らしいことばかりだったような気がします。今の時代では考えられないくらい参加する喜びがあったように思われます。

時代背景が移りすべてに恵まれた今の時代、ロータリーの在り方も自ずと多様になって来るのでしょう。課せられる役割も企業や地域社会のみならず、よりグローバルな課題までもが身の回りに

迫っています。所属クラブの皆さん方との友情を基本にしながら、地域やより広い交流も視野に入れながら、2800地区ガバナー補佐としての役割を務めて参りたいと思います。

小さい頃に過ごした家の客間にあった山形ロータリークラブのバナーが、今でも眼に焼き付いています。我子達にもそんな想いを伝えることが出来れば...などと思っている此の頃です。

第5ブロックガバナー補佐

「超我の奉仕」の実践

須藤太一(上山RC)



この度、石黒慶一ガバナーの指名を受け、ガバナー補佐を仰せつかりました。大役ではありますが、クラブと地区のパイプ役として目標の実現に、皆さんと共に頑張っております。

今年度は、国際ロータリー2世紀目のスタートの年。カール・ヴィルヘルム・ステンハマーR.I.会長は、原点に返り基本理念である「超我の奉仕」(Service Above Self)をテーマに掲げました。奉仕プログラムの継続性の精神を表わしたものと理解します。石黒ガバナーも、地区テーマに「地域、クラブ、個人からの新しい『超我の奉仕』の発進」をと示しました。そして「ロータリー新世紀を迎えて、あなたは何かができますか」と問いかけ、更に、具体的目標と方策、2005-2006年度の数値目標も示しました。

クラブの存立基盤を確立して、社会に役立つ行動を起して欲しいとも云っております。

先輩ロータリアンの築き上げた歴史を継承して、今、自分に何ができるか、一人ひとりの英知をもって「超我の奉仕」の発信に挑戦しようではありませんか。

今年1年、会員相互の親睦のきずなを奉仕活動の出発点に、地区、クラブの目標への実現に向け、クラブ訪問例会、セミナーを通してお手伝いを致します。よろしくお願い申し上げます。

第3ブロックガバナー補佐涌井次一氏、第4ブロックガバナー補佐五十嵐清之助氏は、都合に依り次号以降に掲載致します。

第6ブロックガバナー補佐

ご挨拶

今井三男(米沢上杉RC)



国際ロータリーが新世紀を迎えました本年度、微力ではありますが石黒ガバナーの補佐として、第6ブロック13クラブの内6クラブについて、R.I.並びに石黒ガバナー方針が各クラブの活動方針に導入され、

クラブ年度目標として運営に反映させて頂くべく努力致します。

石黒ガバナーは、地区目標として「地域、クラブ、個人からの新しい超私の奉仕への発進(発信)」

ロータリー新世紀を迎えて、
あなたは何かができますか

具体的目標と方策

1. クラブの棚卸し
2. クラブ基盤の確立
3. 若い世代への貢献のためのプログラムの充実
4. クラブからの地域/国際社会への発信
5. 地区財政の健全化

以上を掲げられました。

ガバナーの意図される方針をどこまで消化しやすく分解できるか疑問ですが、各クラブの皆様のご協力を得ながら、ガバナーとの間の補佐としての心構えに徹し任務を果たしたいと考えています。

さて、最近の景気動向は、素材産業、都市部には順風が吹いていても、地方、そして中小企業では改善のきざしは見えていません。そんな中であって、我が2800地区でもここ数年会員仲間の減少が続いております。これは地区及びクラブの財政基盤を危うくし、ロータリーの活動の原点であります「親睦と奉仕」もおろそかになります。改

めて自分のクラブを見直し、適正会員数の把握と魅力あるクラブへの改善策を打ち出し、新会員の勧誘と退会防止に万全の力を注いでいただくべくお手伝いできればと考えていますのでよろしくお願い申し上げます。

第6ブロックガバナー補佐

ガバナー補佐を拜命して

網代欽二(南陽RC)



今年度ガバナー補佐を拜命してその責任の重さを痛感しています。

私は第6ブロックの7クラブを担当していますが、訪問して安堵したことは、どのクラブでも好意を持って迎えられ、例会の持ち方もそれぞれの個性があり、非常に参考になり勉強になっています。今、世界的にも不況の波が押し寄せ、イラク戦争後のテロ活動の多発、比較的安全だと云われてきた日本も、外国人の犯罪や恐喝擬いの知能犯の横行、青少年の犯罪殺戮など、シカゴの大恐慌を思わせるような時代になってきています。今、地域の連帯、家庭の躰や社会教育のあり方が問われています。異職業交流を通して親睦と奉仕活動をしてきたロータリークラブも100年と云う節目を迎え、今こそ世界平和と新世代の育成に力を入れて行かなければならない時だと思います。

石黒ガバナーはR.I.のテーマをふまえ、地域・クラブ・個人から「超私の奉仕」への発進(発信)と云う目標を掲げられました。年々会員の減少と云う厳しいクラブ・地区運営をせまられている時、先人の残した標語、今年度のテーマについての話し合い、クラブの活性化が求められています。

会員皆様様の御協力、御指導をよろしくお願い申し上げます。

「四つのテスト」に心を留めて

ロータリーは何するところ?ロータリアンって何している人?とたずねられた時、真っ先に心に浮かぶのが「四つのテスト」です。

- 真実か どうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

この倫理観を心に留めて、職業活動をし、この心をもっ

て地域社会に奉仕し、国際交流をし、世界の平和を願い、凛とした人間的な友愛に結ばれての日常活動をしている人。それがロータリーであり、ロータリアンであると語ると、若い人達にもすうっと納得されていくのがわかります。大振りに構えての一打的な行動で見せてもよいのですが、「四つのテスト」は日常的な、ひとつずつの具体的な行動の積み重ねです。だからこそその敬愛の念がお互いの中に温かくつながり、職業奉仕が慈愛の光の中で永続されていくのでしょうか。生きてはたらく「四つのテスト」に光りあれと願っています。(編集子)

2005年 国際大会に 出席して

ガバナー 石黒 慶一

第96回国際ロータリー年次大会は、ロータリー発祥の地である米国シカゴにおいてグレン E. エステス会長の元、100周年記念大会として開催された。6月21日の時点で発表された登録者数は161ヵ国、41,894名であり、内日本からの登録者数は3,231名であり米国に次ぐ登録者数であった。当初は昨年のお阪大会の46,600名以上の参加を期待していたが、結果として大阪大会を超えることは出来ず、当分の間大阪大会の登録者数をを超えることはないだろうとの板橋敏雄元R I理事の感想をお聴きした。

本大会には、家内と出席してきたが、2800地区からは安孫子P G、高橋文夫P G御夫妻が御出席された。他地区には100名を超す団体としての参加もあった。国際大会への参加は、小生としては大分前になるが、フィラデルフィアでの国際大会について二度目の参加であったが、ガバナーエレクトとしての参加であり、その職責の重要性について緊張して参加をしてきた。特に、各クラブから頂いた信任状査証による代議員バッジを胸につけた時はその責任の重さを実感した。以下に期間中の国際大会についての感想を述べさせて頂く。

他地区のガバナーエレクトと共に、6/17(金)に成田を出発し、6/24(金)に帰国する日程で、国際大会の一連の会議や行事に参加して来た。大会期間中は2004~05年度のテーマ「ロータリー



高橋文夫バストガバナーご夫妻と

を祝おう：100年の歩み」の元での大会運営であった。本会議に先立ち6/18にはシカゴ市内のコロナバス通りを2時間にわたる100周年記念パレードが150ヵ国の代表により執り行われロータリーの団結の強さを実感した。6/19の開会式は会場の都合から3回に分けて開催されたが、日本代表団は2回目への参列であった。世界のロータリアンが一つになって奉仕の理想に向かう光景は感動的なものであった。本会議には6/20から6/22まで全日程に出席したが、「ロータリーの過去、現在そして将来」についてのテーマの元での本会議の中、ブッシュ米国大統領、アナン国連事務総長からのメッセージもビデオで披露された。種々の基調講演は印象に残った。世界的に有名な起業家、慈善家であるテッド・ターナー氏(米国)やノーベル平和賞受賞者であるワンガリ・マータイ名誉教授(ケニア)は職業倫理の大切さや小さな奉仕が多くの人々の共感を呼んで大きな力となることを話された。世界の一流の方々を直接聴くことができた事は何よりの収穫であったと思われる。

国際大会への参加は大会イベントへの参加の他にも、観光という楽しみもあり、会議と観光と一日を有意義に過ごすことができた。市内観光では私が30年前に訪れた危険な都市シカゴのイメージが一掃された快適な都市に生まれ変わっていたことに驚かされた。

来年6/11~14に開催される北欧スウェーデン、デンマークの二ヵ国での国際大会に、2800地区からも多くのロータリアンの方々の参加を期待したい。



ポール・ハリスの墓



ポール・ハリス等身大の銅像



「ロータリーの友」の 縦組みはおもしろい!!

ロータリーの友地区委員 池田 徳博

ちらに目を移してみてください。その選者がスゴイのです。こんな風に「選んで」読んでみると、多分、次第にとりこになると思います。

今時、210円でこの内容の月刊誌はないでしょう。毎日、持ち歩くカバンに忍ばせてください。ちょっとした時間に広げてみてください。きっと様々な感慨を持たれることでしょう。そして、是非、投稿に挑戦してみてもはどうでしょう。エッセイ等は1000字以内(400字詰め2枚半)、俳句・短歌・川柳は3句・3首まで(1人葉書1枚)です。普通の写真1枚を入れるとすると100字を除くといった簡単なものです。出来事の1か月以内がいいですよ。ただ、掲載率は50%。

どうです? 挑戦してみませんか? 送付先等、詳しくは、池田までお尋ねください。

さて、みなさん、「ロータリーの友」をご覧になっていますか。まずは、読んでいないのではないのでしょうか。表紙、裏表紙の写真や絵等をご覧になっても、読み込むまでには至っていないというのが、大方のロータリアンの本音でしょうね。

ところで、1冊いくらかでしょうか? 答えは210円(消費税込み)です。そこで、「ロータリーの友」を読み始めるためのコツを伝授させていただきます。

まず、6月号の縦組みの方を開いてください。13ページから岡山ロータリークラブの大原謙一郎さんのお話が載っています。「『地方』から、日本と世界に発言する」という『風紋』の記事です。まず、ここから読み始めてください。そして、スピーチ(卓話)集『卓話の泉』に進んでみてはどうでしょうか。短歌や俳句に興味のある方は、そ



「ロータリー文庫は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料(貸出可)など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

No.215

「地区大会講演より」

- ◎「今、飲み水が恐ろしい」-----北野 大 2005 6P (D.2800)
- ◎「新しい国際社会と日本の軍縮外交」-----猪口邦子 2004 10P (D.2610)
- ◎「少子社会の人間学～夫婦仲が悪いと子どもがキレる」富岡賢治 2004 6P (D.2840)
- ◎「21世紀の美しいまちづくり」-----石川幹子 2004 3P (D.2520)
- ◎「ユネスコ活動とロータリー活動」-----野口 昇 2005 8P (D.2530)
- ◎「日本人と奉仕のこころ」-----鈴木健二 2005 8P (D.2830)
- ◎「夢を追いかけて」-----山本昌邦 2005 4P (D.2740)
- ◎「スペシャルオリンピックスについて」-----細川佳代子 2004 7P (D.2660)
- ◎「プロジェクトX～限りなき挑戦」-----今井 彰 2004 12P (D.2660)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー)]

[ロータリー文庫] 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL03-3433-6456 FAX03-3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

国際ロータリー2800地区大会のご案内



ガバナー
石黒慶一

2005～2006年度 国際ロータリー第2800地区 地区大会のご案内

ロータリーは新世紀を迎えました。
今年度の地区大会は、RIテーマ「超我の奉仕」のもと、ロータリーの原点を見つめ直し「地域、クラブ、個人からの新しい超我の奉仕への発進」の場にしたいと考えます。多くの方の参加を得て、有意義かつ楽しい地区大会にしたいと考えております。
多数のご参加を心よりお待ち申し上げております。



地区大会実行委員長
菅原幸雄

9月16日 東京第一ホテル鶴岡

- 10:30 地区大会委員会
- 12:00 RI会長代理を囲む昼食会
- 13:30 開会点鐘
第1回本会議 会長・幹事会
会長・幹事・地区委員長会議
- 15:00 特別講演
講師 第2780地区PG 小沢一彦氏(横須賀RC)
- 16:30 閉会点鐘
- 17:30 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会(会長・幹事共)
- 19:00 第1日閉会

RI会長代理

蔵並定男氏

国際ロータリー第2780地区パスト・ガバナー
生年月日 / 1927年4月15日
住 所 / 神奈川県鎌倉市小町1-12-5
所属RC / 鎌倉RC
現 職 / 蔵並外科医院 院長
職業分類 / 外科医

9月17日 鶴岡市文化会館

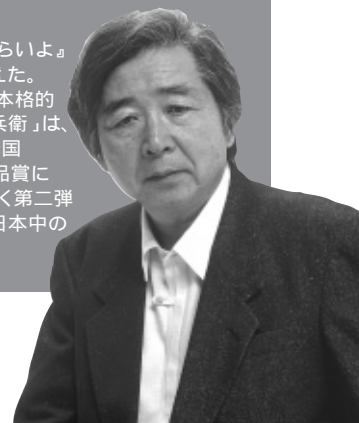
- 9:30 開会点鐘
第2回本会議 大会式典
- 12:00 昼 食
- 13:00 第3回本会議 表彰 他
- 14:15 記念講演
「藤沢周平を通して見る庄内山形」
講 師 映画監督 山田洋次氏
- 15:55 閉会点鐘
移 動
- 17:00 会員懇親の夕べ 場 所 グランド エル・サン
- 18:30 閉 会

山田洋次 監督・プロフィール

昭和6年(1931)9月13日、大阪府豊中市生まれ。父が満鉄に勤めていたため満州に渡り、少年期を過ごした。

昭和29年(1954)東京大学法学部卒業、助監督として松竹に入社。脚本の執筆に携っていたが、昭和36年(1961)、『二階の他人』で監督デビューを果たす。昭和38年(1963)に『下町の太陽』(第2回監督作品)、その後『馬鹿まるだし』などを監督。

代表作、映画『男はつらいよ』シリーズは48本を数えた。藤沢周平原作の初の本格的時代劇『たそがれ清兵衛』は、映画各賞を独占し、米国アカデミー賞外国作品賞にノミネートされた。続く第二弾『隠し剣 鬼の爪』も日本中の話題となった。



ホストクラブ / 鶴岡西ロータリークラブ

コ・ホストクラブ / 鶴岡ロータリークラブ、鶴岡東ロータリークラブ、鶴岡南ロータリークラブ

[地区大会用ホームページ] <http://www.rid2800.jp>



8

月の主要行事 会員増強及び拡大月間

SUN

MON

TUE

WED

THU

FRI

SAT

	1	2	3	4	5	6
行事・会議				インターアクト年次大会 (飯豊町)	→	R財団奨学生選考試験打合せ (山形グランドH)
公式訪問		南陽東	小国			
7	8	9	10	11	12	13
R財団奨学生選考試験 (山形グランドH)	中山、山形イブニング	山形中央	上山			
14	15	16	17	18	19	20
			インターアクト地区外研修 (第2610地区、富山県、石川県)	→		米山奨学会セミナー (オーヌマH)
21	22	23	24	25	26	27
第1回ローターアクト会長・幹事会 (山形)	天童西	山形南	山形	白鷹、米沢	山形東	
28	29	30	31			
	河北	米山奨学会評議員会 (東京)	山形RC創立55周年記念式典 朝日			

出羽三山の主峰・月山(1,984m)の山頂にある月山神社です。古くから山岳信仰の山として知られ1400年の歴史を誇り、夏山シーズンのこの時期には全国から多くの参拝者が訪れます。



国際ロータリー第2800地区
2005 2006年度ガバナー

石黒慶一

ガバナー事務所

〒997-0034 山形県鶴岡市本町一丁目5-22(石黒歯科・矯正歯科医院駐車場2階)
TEL 0235-29-8340 FAX 0235-29-8341
<http://www.rid2800.jp> E-mail governor@rid2800.jp

2100



古紙配合率100%再生紙・大豆インクを使用しています。